

# I 展示活動

## 1 企画展

### 日常生活 相笠昌義の世界展

- 会期 平成21年4月25日(土)～5月24日(日)
- 主催 茨城県つくば美術館
- ポスター B2
- チラシ A4
- 図録 296×217mm 121頁  
編集：舟木力英  
デザイン：荻谷文野  
発行：茨城県つくば美術館
- 入場者数 2,946人
- 観覧料 一般 380(320)円／高校・大学生 280(220)円  
小・中学生 180(120)円  
※( )内は20名以上の団体料金
- 出品点数 121点
- 内容解説

相笠は、自らの画家としての拠って立つべき視点をきわめて明確にした上で、絵画作品を制作している現代稀に見るタイプの具象作家であり、芸術家としての真摯な姿勢を保っている。それは、「人間を描くことが一番好きです」と宣言し、画家自身の生活を含め「日常のごく当たり前の生活」を描くことが、自分にできる「現代を見つめる唯一の方法」と語ったことからもうかがえる。作品に描かれた人物は、まさしく現代に生きる人間の外見や内面の偽らざる姿であり、特に都市生活者の相貌が駅構内などの都市風景の中に孤独や悲しみ、ユーモアやアイロニーなど伴って活写されているものが多い。

本展では、初期のコラージュや版画から未発表の新作まで121点の作品を展覧し、相笠が描いた人間の日常生活を通して目まぐるしく変動する現代社会に生きる人間の心の奥底を見つめる機会となるよう、展示構成した。

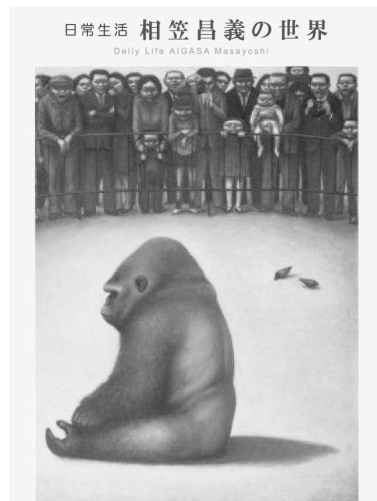
- 担当 吉田衣里(学芸員)
- 関連事業
  - ・ギャラリー・トーク  
担当 舟木力英(茨城県近代美術館学芸専門員)、  
外館和子(主任学芸員)  
日時 5月9日(土)、5月16日(土)  
両日とも午後2時から  
会場 展示室
- 関連記事
  - ・「日常生活 相笠昌義の世界」(秋田浩平)  
4月8日【毎日新聞】
  - ・「相笠昌義さんの代表作紹介」(海東強)  
4月14日【常陽新聞】
  - ・「現代に生きる人間の心表現 「相笠昌義の世界」展」  
(加藤信太郎) 4月25日【茨城新聞】
  - ・「都会の日常、無音の中に つくばで「相笠昌義」展」  
(赤嶺容子) 4月28日【常陽新聞】
  - ・「日常生活 相笠昌義の世界」  
5月1日・11日号【新美術新聞】
  - ・「相笠昌義の世界1 人生最初の挫折」(外館和子)  
5月1日【常陽新聞】
  - ・「相笠昌義の世界2 コラージュ・版画に意欲」  
(外館和子) 5月2日【常陽新聞】



ポスター-B2



チラシ A4



図録

- ・「相笠昌義の世界 3 孤独・疎外感を表現」(外館和子) 5月4日【常陽新聞】
  - ・「相笠昌義の世界 4 くたびれた男の孤独」(外館和子) 5月5日【常陽新聞】
  - ・「相笠昌義の世界 5 “消音効果”助ける構図」(外館和子) 5月6日【常陽新聞】
  - ・「相笠昌義の世界 茨城県つくば美術館」 5月7日【両毛新聞】
  - ・「相笠昌義の世界 6 楽しさの中にも寂しさ」(外館和子) 5月8日【常陽新聞】
  - ・「相笠昌義の世界 7 描写や構成、広重作品に似る」(吉田衣里) 5月9日【常陽新聞】
  - ・「相笠昌義の世界 8 私たち自身の肖像」(吉田衣里) 5月11日【常陽新聞】
  - ・「現代日本人の心の奥底表現 「相笠昌義の世界」展」 5月11日【茨城新聞】
  - ・「日常生活 相笠昌義の世界」展」(大西若人) 5月13日【朝日新聞(夕)】
- 関連放送
- ・「スクーパーレポート」 5月7日【IBS茨城放送】
  - ・「日曜美術館アートシーン」 5月10日【NHK教育】

## ● 出品作品一覧

No.	作品名	制作年	サイズ 縦×横㎝	材質技法	所蔵
1	18歳の自画像	1957	33.4×24.3	油彩・キャンバス	
2	くんせいのある静物	1958	60.6×72.7	油彩・キャンバス	
3	工場風景	1958	60.6×72.7	油彩・キャンバス	
4	帰り道	1970	72.7×60.6	油彩・キャンバス	
5	DAY AND NIGHT	1971	97.0×162.1	油彩・キャンバス	
6	時間差計画、駅にて	1971	130.3×162.2	油彩・キャンバス	
7	日常生活、街にて	1971	116.8×91.0	油彩・キャンバス	
8	みる人	1972	80.0×115.5	油彩・キャンバス	東京オペラシティアートギャラリー(寄託)
9	こしかける人	1973	53.0×72.0	油彩・キャンバス	東京オペラシティアートギャラリー(寄託)
10	四季少女図 I	1973	72.7×72.7	油彩・キャンバス	
11	日常生活、駅にて・昼 I	1973	130.3×162.2	油彩・キャンバス	
12	日常生活、公園にて	1973	130.0×162.0	油彩・キャンバス	東京オペラシティアートギャラリー
13	日常生活、公園にて・ベンチ	1973	50.0×72.7	油彩・キャンバス	
14	パンダ来たる	1973	72.7×91.0	油彩・キャンバス	
15	「パルタイ」のために	1974	45.5×33.3	油彩・キャンバス	
16	窓辺、夜	1974	52.0×32.0	油彩・キャンバス	東京オペラシティアートギャラリー(寄託)
17	インドにて、デリーの春	1975	80.3×116.7	油彩・キャンバス	東京オペラシティアートギャラリー
18	動物園にて、ゴリラをみる人	1975	72.7×53.0	油彩・キャンバス	
19	動物園にて、ポニーにのる	1976	72.7×91.0	油彩・キャンバス	
20	動物園にて、パンダ来たる II (旧題・パンダをみる人 II)	1976	53.0×72.7	油彩・キャンバス	
21	水族館にて	1976	59.0×72.5	油彩・キャンバス	東京オペラシティアートギャラリー(寄託)
22	水族館にて、コバルトスズメのいる水槽	1976	53.0×45.5	油彩・キャンバス	
23	動物園にて、サル舎の前で	1976	97.0×162.1	油彩・キャンバス	
24	動物園にて、サルをみる男	1976	72.7×53.0	油彩・キャンバス	
25	動物園にて、オランウータンをみる人	1976年	90.9×72.7	油彩・キャンバス	
26	窓辺、午後	1976年	52.5×39.5	油彩・キャンバス	東京オペラシティアートギャラリー(寄託)

No.	作品名	制作年	サイズ 縦×横㎝	材質技法	所蔵
27	日常生活、我が家族・我が画室	1978年	91.0×72.7	油彩・キャンバス	
28	四季公園図	1978年	74.2×116.8	油彩・キャンバス	
29	カラバンチェロの昼下がり	1981年	97.0×162.1	油彩・キャンバス	東京国立近代美術館
30	動物園にて、コピト・デ・ニエベ	1983年	79.0×115.5	油彩・キャンバス	東京オペラシティアートギャラリー (寄託)
31	スペインにて、私が住んでいたプ ラサマヨール	1983年	116.7×80.3	油彩・キャンバス	
32	雨のメノルカ	1984年	74.2×116.8	油彩・キャンバス	
33	民族衣装の由美子	1986年	72.7×50.0	油彩・キャンバス	
34	秋のけはい	1987年	97.0×162.1	油彩・キャンバス	
35	姉弟図、七五三	1988年	53.0×39.4	油彩・キャンバス	
36	追想、四季姉弟図	1990年	91.0×72.7	油彩・キャンバス	
37	秋、室内図	1990年	53.0×72.7	油彩・キャンバス	
38	まどろみの時	1990年	72.7×116.7	油彩・キャンバス	
39	画集を見る由美子	1990年	90.9×65.2	油彩・キャンバス	
40	窓辺の女	1990年	72.7×50.0	油彩・キャンバス	
41	体育の時間	1992年	53.0×72.7	油彩・キャンバス	
42	下町の子ども達	1994年	48.5×71.0	油彩・キャンバス	東京オペラシティアートギャラリー
43	上野公園、西郷さん	1994年	80.3×116.7	油彩・キャンバス	
44	九龍城、1990年	1994年	90.9×116.7	油彩・キャンバス	
45	ゴリラをみる人	1994年	116.8×91.0	油彩・キャンバス	
46	ゾウをみる人	1994年	91.0×91.0	油彩・キャンバス	
47	駅にて、冬陽	1994年	89.4×145.5	油彩・キャンバス	東京オペラシティアートギャラリー
48	地下鉄を待つ人	1994年	97.0×162.1	油彩・キャンバス	東京オペラシティアートギャラリー (寄託)
49	メキシコにて、寒村のバザール	1995年	97.0×194.0	油彩・キャンバス	東京オペラシティアートギャラリー (寄託)
50	都会風景、交差点にて	1996年	90.9×65.2	油彩・キャンバス	東京オペラシティアートギャラリー
51	不忍の池	1996年	89.4×130.3	油彩・キャンバス	東京オペラシティアートギャラリー
52	ニューヨークにて、52番街	1996年	145.5×89.4	油彩・キャンバス	東京オペラシティアートギャラリー
53	ニューヨークにて、ブロードウェイ アベニュー	1997年	112.1×145.5	油彩・キャンバス	東京オペラシティアートギャラリー (寄託)
54	牧場にて、馬をみる	1999年	53.0×65.1	油彩・キャンバス	
55	富嶽望景	2001年	72.7×116.7	油彩・キャンバス	
56	動物園にて、クジャクを見る母子	2002年	53.0×65.1	油彩・キャンバス	
57	駅にて、夜	2004年	97.0×162.1	油彩・キャンバス	
58	ゲートボールをする人	2004年	72.7×116.7	油彩・キャンバス	
59	お花見	2004年	130.3×581.7	油彩・キャンバス	東京オペラシティアートギャラリー
60	夕立ち	2004年	72.7×116.7	油彩・キャンバス	
61	雪の日	2004年	72.7×116.7	油彩・キャンバス	
62	子供時代 I	2004年	65.2×90.9	油彩・キャンバス	
63	正装姉弟図 I	2004年	65.1×53.0	油彩・キャンバス	
64	交差点にて、あるく人	2007年	145.5×227.3	油彩・キャンバス	
65	うたたね(夏・おひるね)	2008年	65.2×90.9	油彩・キャンバス	
66	交差点にて、夏	2009年	162.1×227.3	油彩・キャンバス	
67	交差点にて、冬	2009年	145.5×227.3	油彩・キャンバス	
68	追悼・白ゴリラとブルブル	2009年	90.9×116.7	油彩・キャンバス	

No.	作品名	制作年	サイズ 縦×横(m)	材質技法	所蔵
69	カイロ雑踏	2009年	89.4×145.5	油彩・キャンバス	
70	スフィンクスをみる人	2009年	72.7×116.7	油彩・キャンバス	
71	赤富士	2009年	65.2×90.9	油彩・キャンバス	
72	富士をみる人	2009年	90.9×116.7	油彩・キャンバス	
73	童女立像	2009年	60.6×45.5	油彩・キャンバス	
74	古典主義による顔連作、憂鬱	1963年	36.0×30.0	エッチング、ドライポイント	
75	古典主義による顔連作、意志	1963年	36.0×29.5	エッチング、ドライポイント	
76	古典主義による顔連作、古風	1963年	36.0×30.0	ドライポイント	
77	都市・夜 I	1964年	42.0×23.0	エッチング	
78	標本収集癖 I	1964年	42.0×30.0	エッチング	町田市立国際版画美術館
79	誕生、又は発生	1964年	63.0×48.0	コラージュ	
80	標本収集癖	1964年	62.0×47.5	コラージュ	
81	老実業家M氏の巨きな頭部	1965年	59.0×46.0	コラージュ	
82	都市に魅れて(旧題 日常生活 II)	1965年	42.0×30.0	エッチング(雁皮刷)	
83	都会人のためのモニュマン L - I	1965年	75.0×61.0	コラージュ	
84	都市に魅れて L - I	1965年	75.0×61.0	コラージュ	
85	ベリィ ベリィ ビーズィ	1967年	40.5×34.5	エッチング	町田市立国際版画美術館
86	日常生活 68 - I	1968年	36.0×28.0	エッチング	
87	政治家S氏の巨大な頭部	1968年	44.5×33.2	エッチング	
88	ラ ファム メタフィジック I	1969年	49.0×36.0	エッチング、手彩色	町田市立国際版画美術館
89	文明嫌悪症、女々々(又はお尻のある風景)	1969年	36.5×51.5	エッチング	
90	東京 1969年	1969年	50.0×35.0	エッチング	
91	進化論	1970年	52.5×36.5	エッチング、手彩色	町田市立国際版画美術館
92	少女立像	1974年	42.5×17.0	エッチング	
93	日常生活、こしかける人	1974年	25.0×42.5	エッチング、アクアチント	町田市立国際版画美術館
94	ダンス	1974年	25.0×42.0	エッチング	
95	少女三人	1976年	30.0×37.0	エッチング(多色)、アクアチント	町田市立国際版画美術館
96	駅にて、夜	1976年	36.5×30.5	エッチング	
97	駅にて、冬陽 I	1977年	30.0×47.5	エッチング、アクアチント	町田市立国際版画美術館
98	少女鉄棒図	1977年	24.0×18.0	エッチング	東京オペラシティアートギャラリー(寄託)
99	ジャングルジム	1977年	53.0×42.0	リトグラフ	
100	動物園にて、サイをみる人	1977年	30.0×47.5	エッチング	
101	ネコをだく少女	1978年	10.5×6.5	エッチング	
102	アンダルシアの唾の少女	1981年	25.0×25.0	エッチング、リフトグラウンド・エッチング	町田市立国際版画美術館
103	アンダルシアの貧しき少女	1981年	37.5×28.5	エッチング、アクアチント、リフトグラウンド・エッチング	町田市立国際版画美術館
104	踊子ロシオ(大)	1982年	30.0×26.5	エッチング、リフトグラウンド・エッチング	町田市立国際版画美術館
105	髪を結う由美子 I	1985年	36.5×38.0	エッチング	町田市立国際版画美術館
106	民族衣装の由美子 B	1986年	59.0×42.0	リトグラフ	町田市立国際版画美術館
107	民族衣装の由美子 A	1986年	59.0×42.0	リトグラフ(多色)	町田市立国際版画美術館

No.	作品名	制作年	サイズ 縦×横(m)	材質技法	所蔵
108	民族衣装の女	1988年	50.5×32.8	エッチング、アクアチント	町田市立国際版画美術館
109	山下公園の日曜日	1988年	26.5×71.0	エッチング、アクアチント	町田市立国際版画美術館
110	夏、姉弟図	1988年	30.0×19.5	エッチング、リフトグラ ド・エッチング	町田市立国際版画美術館
111	夏の女	1989年	39.0×52.0	エッチング、アクアチント	町田市立国際版画美術館
112	地下鉄を待つ人	1989年	22.5×62.0	エッチング、アクアチント	町田市立国際版画美術館
113	海水浴をする人	1989年	29.5×63.0	エッチング、アクアチント	町田市立国際版画美術館
114	下校時間	1991年	17.5×23.5	エッチング	町田市立国際版画美術館
115	皇居、二重橋	1991年	27.8×47.5	エッチング、アクアチント	町田市立国際版画美術館
116	平成相撲図	1992年	29.5×39.5	エッチング、アクアチント	町田市立国際版画美術館
117	夏冬こども図	1993年	18.0×24.5	エッチング	町田市立国際版画美術館
118	昭和追想、新紙芝居図	1993年	24.5×34.3	エッチング、リフトグラ ド・エッチング	町田市立国際版画美術館
119	橘果をもつ女	1995年	45.5×29.0	エッチング、アクアチント	町田市立国際版画美術館
120	象をみる人	1996年	36.5×38.2	エッチング、アクアチント	町田市立国際版画美術館
121	駅にて、冬陽Ⅱ	2001年	26.0×66.5	エッチング	町田市立国際版画美術館

# 笹井史恵 × 田嶋悦子 イン・ザ・フラワー・ガーデン

- 会期 平成21年10月9日(金)～11月8日(日)
- 主催 茨城県つくば美術館
- ポスター B2
- チラシ A4
- 図録 296mm×225mm 111頁  
編集：外館和子  
発行：茨城県つくば美術館
- 入場者数 2,355人
- 観覧料 一般 380(320)円／高校・大学生 280 (220) 円  
小・中学生 180(120)円  
※ ( ) 内は 20名以上の団体料金
- 出品点数 84点 (同シリーズを1点として)
- 内容解説

素材や技術にねざした伸びやかな表現世界をテーマに、現代を代表する2人の工芸系作家の、それぞれ初期から現在までを紹介する展覧会とした。出品作家は、乾漆技法を基本に、植物やいきものに見いだされる生命力を膨らみのあるフォルムで表現する笹井史恵と、陶やガラスを用いて女性の身体に植物的イメージを重ねながら、快活でエネルギーあふれる空間を創造する田嶋悦子。

ある素材と継続的に向き合い制作する上での身体性や触覚性という特徴や、物質的美観の強い素材ならではの作品の魅力、あるいはそれ故の難しさなど、漆と陶という素材の違いや、違いを越えた共通の事情や発想についてもうかがえる内容となった。

- 担当 外館和子 (主任学芸員)
- 関連事業
  - ・ギャラリー・トーク  
担当 外館和子  
日時 10月25日(日)、11月7日(土)  
両日とも午後1時30分から  
会場 展示室
  - ・鼎談「わたしたちの素材・表現・時代」  
講師 田嶋悦子(作家)、笹井史恵(作家)、外館和子(主任学芸員)  
日時 10月10日(土) 午後2時から  
会場 アルスホール
  - ・漆のワークショップ「漆物語ー笹井史恵×大子町」  
講師 笹井史恵  
日時 10月31日(土) 午後1時30分から  
11月1日(日) 午前10時から  
会場 講座室
- 関連記事
  - ・「笹井史恵×田嶋悦子 イン・ザ・フラワー・ガーデン ① 女性とは何かを問う」(外館和子)  
10月7日【常陽新聞】
  - ・「女性工芸家自由な発想」(三次豪)  
10月10日【茨城新聞】
  - ・「笹井史恵×田嶋悦子 イン・ザ・フラワー・ガーデン ② 黒いフォルムに威厳」(外館和子)  
10月14日【常陽新聞】



ポスターB2



チラシA4



図録

- ・「作品の時代背景など語る 県つくば美術館企画展で鼎談」(蜂谷和子) 10月20日【常陽新聞】
- ・「素材に新たな可能性 女性工芸家2人展 県つくば美術館」(三次豪) 10月21日【茨城新聞】
- ・「笹井史恵×田嶋悦子 イン・ザ・フラワ・ガーデン③ 豊かな生命力を表出」(外館和子) 10月21日【常陽新聞】
- ・「笹井史恵×田嶋悦子 イン・ザ・フラワ・ガーデン④ 大らかなエロティシズム」(外館和子) 10月22日【常陽新聞】
- ・「笹井史恵×田嶋悦子 イン・ザ・フラワ・ガーデン⑤ 穏やかに洗練の世界に誘う」(外館和子) 10月23日【常陽新聞】
- ・「笹井史恵×田嶋悦子 イン・ザ・フラワ・ガーデン⑥

- 朱色の花びらにタイ語 44文字」(外館和子) 10月24日【常陽新聞】
- ・「笹井史恵×田嶋悦子 イン・ザ・フラワ・ガーデン⑦ わくわくするような春の期待感」(外館和子) 10月27日【常陽新聞】
- ・「漆と陶のあでやかな競演」(岸桂子) 10月27日【毎日新聞(夕刊)】
- ・「笹井史恵×田嶋悦子 イン・ザ・フラワ・ガーデン⑧ 得体の知れない不敵な勇姿」(外館和子) 10月28日【常陽新聞】

●関連放送

- ・「What's Tsukuba!」 10月6日【ラヂオつくば】
- ・「スクーピーレポート」 10月12日【IBS 茨城放送】
- ・「みんなの教育」 10月20日【IBS 茨城放送】

● 出品作品一覧

○ 田嶋悦子

NO.	作品名	制作年	材質	寸法(縦×横×高m)	所蔵
1	テンプ・テイ・ション	1982年	手捻り、型成形、陶	60×55×55	
2	6 ウーマン	1982年	手捻り、型成形、陶	40 × 150 × 150 (全体6分割)	
3	ヒップ・ガーデン“プリプリ”	1986年	手捻り、型成形、陶(金属支柱)	230×60×60	
4	ヒップ・ガーデン “アパ・カバール”	1986年	手捻り、型成形、陶(金属支柱)	300 × 120 × 100	
5	ヒップ・アイランド “ボタニカル”	1987年	手捻り、型成形、陶(金属支柱)	180 × 120 × 120	
6	ヒップ・アイランド “ヒップ・アイランド”	1987年	手捻り、型成形、陶	約 220×200 × 200	
7	ボタニカル	1988年	手捻り、型成形、陶	35×40×40	
8	フロー No.2	1989年	手捻り、型成形、陶	100 × 130 × 60	
9	フロー・エイジ	1989年	手捻り、型成形、陶	70×80×38	
10	スワール	1989年	手捻り、型成形、陶	60×60×20	
11	フローラル No.2	1990年	手捻り、型成形、陶	80×75×65	
12	ポリープ	1990年	手捻り、陶	35×30×25	
13	ボタニカル I	1990年	手捻り、陶	70×70×35	
14	ボタニカル II	1990年	手捻り、陶	60×70×30	
15	ボタニカル III	1990年	手捻り、陶	75×65×40	
16	ボタニカル IV	1990年	手捻り、陶	50×50×30	
17	ジュラの幻想	1990年	手捻り、型成形、陶	180 × 270 × 180	
18	サンクチュアリ (花マーク)	1994年	タタラ成形、陶	55×63×62	
19	サンクチュアリ (草マーク)	1994年	タタラ成形、陶	50×55×50	
20	サンクチュアリ (3マーク)	1994年	タタラ成形、陶	48×125×33	
21	サンクチュアリ (ひし形マーク)	1994年	タタラ成形、陶	162×33×35	
22	サンクチュアリ (だるまマーク)	1994年	タタラ成形、陶	159×35×35	
23	サンクチュアリ (アーモンドマーク)	1994年	タタラ成形、陶	31×36×36	

NO.	作品名	制作年	材質	寸法(縦×横×高)mm	所蔵
24	コルヌコピア 99-I X	1999年	タタラ成形、陶、ガラス	50×54×60	岐阜県現代陶芸美術館
25	コルヌコピア 00-XI	2000年	タタラ成形、陶、ガラス	43×34×30	
26	コルヌコピア 01-I	2001年	タタラ成形、手捻り、陶、ガラス	50×50×50	
27	コルヌコピア 02-XI	2002年	タタラ成形、陶、ガラス	94×74×55	東京国立近代美術館
28	コルヌコピア 03-II	2003年	タタラ成形、手捻り、陶、ガラス	49×107×42	
29	コルヌコピア 04-Y' V	2004年	タタラ成形、陶、ガラス	92×85×230	
30	コルヌコピア 04-Y' II	2004年	タタラ成形、手捻り、陶、ガラス	50×87×68	
31	コルヌコピア 06 テイカカズラ	2006年	タタラ成形、陶、ガラス	89×68×82	
32	コルヌコピア 07-Y 1	2007年	タタラ成形、陶、ガラス	68×65×65	岐阜県現代陶芸美術館
33	コルヌコピア 07-Y 2	2007年	タタラ成形、陶、ガラス	79×62×43	
34	コルヌコピア 08-Y 2	2008年	タタラ成形、陶、ガラス	100×53×50	
35	コルヌコピア 08-I	2008年	タタラ成形、陶、ガラス	78×98×70	

## ○ 笹井史恵

NO.	作品名	制作年	材質	寸法(縦×横×高)mm	所蔵
1-1	めばえ 1	1994年	乾漆、朱漆、金粉、呂色仕上	55×50×50	
1-2	めばえ 2	1994年	乾漆、朱漆、黒漆、銀粉、呂色仕上	50×42×42	
2	のぞく	1994年	乾漆、黒漆、乾漆粉、呂色仕上	各90×82×20	
3-1	みのる 1	1995年	脱乾漆、朱漆、呂色仕上	42×42×42	
3-2	みのる 2	1995年	脱乾漆、朱漆、呂色仕上	45×42×42	
4	ひとり	1995年	木製パネル(屏風)、朱漆、緑漆、乾漆粉、呂色仕上	164×164×3	
5	ふたり	1995年	乾漆、朱漆、乾漆粉、呂色仕上	40×40×40、 36×38×38	
6-1	ライフ 1	1996年	乾漆、朱漆、木、塗立仕上	15×17×62	
6-2	ライフ 2	1996年	乾漆、朱漆、木、塗立仕上	17×15×54	
6-3	ライフ 4	1996年	乾漆、朱漆、木、塗立仕上	45×21×10	
7-1, 2, 3	ちびたま	1996年	乾漆、朱漆、木、塗立仕上	約10×8×8	
8	オボジット 1	1997年	乾漆、朱漆、木、塗立仕上	30×28×16	
9	プライマル	1998年	乾漆、朱漆、木、塗立仕上	14×16×13	
10	アンティシペイト 2	1998年	乾漆、朱漆、木、塗立仕上	15×18×13	
11	スプラウディング	1998年	乾漆、朱漆、木、塗立仕上	30×20×15	
12-1	インメモリアル 1	1998年	乾漆、朱漆、塗立仕上	20×18×10	
12-2	インメモリアル 2	1998年	乾漆、朱漆、塗立仕上	20×18×10	
13	アクセプタブル	1999年	脱乾漆、朱漆、塗立仕上	16×21×14	
14	プライモディアル	1999年	乾漆、朱漆、木、呂色仕上	91×110×42	
15-1	アセンディング 1	2000年	脱乾漆、朱漆、塗立仕上	20×25×12	
15-2	アセンディング 2	2000年	脱乾漆、朱漆、塗立仕上	20×25×12	
16	フォーチュネイト	2000年	脱乾漆、朱漆、金粉、塗立仕上	14×16×15	
17-1, 2, 3	とらちゃん一、二、三	2000年	脱乾漆、朱漆、塗立仕上	10×12×11、 6×8×7、 5×7×6	
18	シークレット・プロムナード	2001年	脱乾漆、朱漆、塗立仕上	21×30×8- 10	
19-1	ア・ポーズ 1	2001年	脱乾漆、朱漆、塗立仕上	20×40×20	
19-2	ア・ポーズ 2	2001年	脱乾漆、朱漆、塗立仕上	5×10×4	



NO.	作品名	制作年	材質	寸法 (縦×横×高m)	所蔵
19-3	ア・ポーズ 3	2001年	脱乾漆、朱漆、塗立仕上	5×10×4	
19-4	ア・ポーズ 4	2001年	脱乾漆、朱漆、塗立仕上	5×10×4	
19-6	ア・ポーズ 6	2001年	脱乾漆、朱漆、塗立仕上	20×20×11	
19-8	ア・ポーズ 8	2001年	脱乾漆、朱漆、塗立仕上	9×10×6	
20-1	フロート・アクロス 1	2001年	脱乾漆、朱漆、塗立仕上	23×24×11	
20-2	フロート・アクロス 2	2001年	脱乾漆、朱漆、塗立仕上	13×11×9	
21	ロング・フォー	2001年	脱乾漆、朱漆、塗立仕上	15×16×17	
22	プライモディアル 2	2001年	脱乾漆、朱漆、塗立仕上	28×25×22	
23-1	エンドカーブ 1	2001年	脱乾漆、朱漆、塗立仕上、絹紐	7×40×20	
23-2	エンドカーブ 3	2002年	脱乾漆、朱漆、塗立仕上、絹紐	7×40×18	
24-1	なごみん一	2002年	脱乾漆、朱漆、塗立仕上	10×20×18	
24-2	なごみん二	2002年	脱乾漆、朱漆、塗立仕上	4×10×8	
24-3	なごみん三	2002年	脱乾漆、朱漆、塗立仕上	3×8×6	
25-1,2	シークレット・ネゴシエーション 1、2	2002年	脱乾漆、朱漆、塗立仕上	各 14×47×18	
26-1,2	アン・インターバル 1、2	2002年	脱乾漆、朱漆、塗立仕上	20×24×24	
27-1~8	リフレイン 1~8	2002年	脱乾漆、朱漆、塗立仕上	30×20×10	
28-1	インクリーシング 2	2002年	脱乾漆、朱漆、塗立仕上	30×20×10	
28-2	インクリーシング 3	2002年	脱乾漆、朱漆、塗立仕上	13×12×5	
28-3	インクリーシング 4	2002年	脱乾漆、朱漆、塗立仕上	13×12×5	
28-4	インクリーシング 5	2002年	脱乾漆、朱漆、塗立仕上	8×7×4	
28-5	インクリーシング 6	2002年	脱乾漆、朱漆、塗立仕上	8×7×4	
28-6	インクリーシング 13	2002年	脱乾漆、朱漆、塗立仕上	7×6×3	
29-1,2	れもん 1、2	2003年	レモンの皮、朱漆、塗立仕上	各 10×7×7	
30	ラック「ソー」	2004年	手漉き紙、朱漆、タヨー漆、金粉、塗立仕上	3×16×14	
31	オファー・フラワー	2004年	手漉き紙、朱漆、タヨー漆、金粉、塗立仕上	49×49×14	
32	ココナッツ (展示は'09バージョン)	2005年	ココナッツの殻、黒漆、生漆、塗立仕上 (大子漆使用)	7×14×14	
33	タマリンド豆	2005年	タマリンドの殻、朱漆、塗立仕上	2~6×4~10×2	
34	チョンプー	2005年	乾漆、朱漆、塗立仕上	15×18×20	
35	もだま豆 (展示は'09バージョン)	2006年	もだまの殻、朱漆、赤呂色漆、塗立仕上 (大子漆使用)	3×33×10	
36-1	ピラブド 1	2007年	乾漆、朱漆、塗立仕上	24×20×12	
36-2	ピラブド 2	2007年	乾漆、朱漆、塗立仕上	26×22×14	
36-3	ピラブド 4	2007年	乾漆、朱漆、塗立仕上	21×26×20	
37-1	マンゴスチン 1	2007年	脱乾漆、朱漆、色漆、卵殻、塗立仕上	18×20×20	
37-2	マンゴスチン 2	2007年	脱乾漆、朱漆、色漆、卵殻、塗立仕上	18×20×20	
38	朱器	2007年	手漉き紙、朱漆、塗立仕上	12×11×11	
39	スターフルーツ	2008年	乾漆、朱漆、塗立仕上	15×30×30	
40-1	華一はな一1	2008年	乾漆、朱漆、塗立仕上	29×29×16	
40-2	華一はな一2	2009年	乾漆、朱漆、塗立仕上	33×37×16	

NO.	作品名	制作年	材質	寸法(縦×横×高)	所蔵
40-3	華-はな-3	2009年	乾漆、朱漆、塗立仕上	29×33×17	
40-4	華-はな-4	2009年	乾漆、朱漆、塗立仕上	22×26×10	
41-1	ビラブド 5	2009年	乾漆、朱漆、塗立仕上	30×30×24	
41-2	ビラブド 6	2009年	乾漆、朱漆、塗立仕上	30×30×24	
42	うさぎ	2009年	乾漆、朱漆、塗立仕上(大子漆使用)	26×30×25	
43	アクセプタブル	2009年	脱乾漆、朱漆、塗立仕上(大子漆使用)	23×35×30	
44	華実 5	2009年	乾漆、朱漆、塗立仕上(大子漆使用)	17×18×14	
45	華実 6	2009年	乾漆、朱漆、塗立仕上(大子漆使用)	17×18×14	
46	華-はな-5	2009年	乾漆、朱漆、塗立仕上(大子漆使用)	37×52×19	
47	さかな 1	2009年	脱乾漆、朱漆、塗立仕上(大子漆使用)	30×78×45	
48	さかな 2	2009年	脱乾漆、朱漆、塗立仕上(大子漆使用)	14×20×18	
49	さかな 3	2009年	脱乾漆、朱漆、塗立仕上(大子漆使用)	14×20×18	

## 2 貸ギャラリーによる展覧会

創作活動の発表の場を提供し、地域の文化の振興に寄与する目的から、展示室を一般に貸し出し、貸しギャラリーによる展覧会を実施している。

会 期	展 覧 会 名	展 示 内 容	入場者数
4/5(日)～4/12(日)	陶・小林征児展 もうひとつの仕事 - 駄駄男	笠間在住の陶芸家小林征児氏の個展。化粧土の線を素焼きの上に乗せ、表面を削ってならず手法で造形された、「動き」を感じさせる作品が展示された。 [出品点数 32点]	670人
4/14(火)～4/19(日)	すどう美術館第7回「OPINION OF ART」同時開催 菅創吉展	すどう美術館が美術活動をするきっかけとなった菅創吉の作品を出品。美術のオピニオンリーダーとなる作家の作品も展示された。 [出品者数 20名 出品点数 78点]	1,243人
	山岡草 創作和紙人形の世界展	倭紙芸副美式人形宗家 山岡草の創作和紙人形展。手すき和紙を草木染めし、ひねり、絞り、縛る技法により生まれた作品が展示された。 [出品点数 70点]	
5/27(水)～5/31(日)	第13回紫流書道会展	県南地域を中心に活動する紫流書道会会員と幼～中学生までの生徒作品を発表する展覧会。展示室通路には元気いっぱいの小学生の作品が展示された。 [出品者数 149名, 出品点数 180点]	1,014人
	君光と門人たち展	NHK(柏)文化センター「日本画」グループを中心に結成した「君光画友会」による展覧会。15周年を記念して君光氏による版画作品も出品された。 [出品者数 59名, 出品点数 130点]	
6/2(火)～6/7(日)	朔日会つくば巡回展	「情熱」「個性」「自由」を合い言葉に芸術運動を展開する朔日会のつくば巡回展。人物や風景、静物を描いた油彩の他、版画、写真が出品された。 [出品者数 43名, 出品点数 130点]	636人
6/9(火)～6/14(日)	松山敦子キルトスタジオ A-two 第14回パッチワークキルト展	土浦市出身のキルト作家松山敦子氏とその教室のメンバーによる作品展。花や鳥をモチーフにした大判のタペストリーや小作品が展示された。 [出品者数 38名, 出品点数 149点]	2,089人
6/16(火)～6/21(日)	アートウェーブつくば	つくば市周辺で活動する作家 63名による展覧会。日本画・洋画・立体平面・書・彫刻・工芸・写真など様々なジャンルの作品が出品された。 [出品者数 63名, 出品点数 205点]	1,383人
6/23(火)～6/28(日)	アトリエ・ハートタイム展	水彩画家田中己永さんとその生徒による展覧会。身近な風景や人物、旅先での風景や動植物などをモチーフに水彩や色鉛筆で描かれた作品が出品された。 [出品者数 27名, 出品点数 76点]	1,447人

会 期	展 覧 会 名	展 示 内 容	入 場 者 数
6/30(火)～7/5(日)	魅せられて 12	写真愛好家のグループ、写真集団ピン歩気による 12 回目の写真展。風景・人物・スナップなどメンバーがそれぞれのテーマを決めて撮影した作品が展示された。 [出品者数 20 名, 出品点数 77 点]	1,839 人
	第 23 回フォトサークル土浦写真展	土浦市を拠点に活動するフォトサークル土浦の写真展。植物や美しい風景などを撮影した写真が展示された。 [出品者数 16 名, 出品点数 115 点]	
7/7(火)～7/12(日)	中村みさ布絵展	布を使って表現する布絵作家中村みささんの展覧会。失われつつある自然の風景や生活模様を布の縫い合わせやステッチなどで表現した。 [出品点数 60 点]	1,367 人
	全日本写真連盟第 15 回常総支部写真展	写真愛好家の組織「全日本写真連盟」の常総支部展。風景、人物、動植物などを撮影した作品や、本年度のテーマ「道」をそれぞれが表現した作品が展示された。 [出品者数 28 名, 出品点数 108 点]	
7/15(水)～7/26(日)	第 20 回写真展	茨城自然写真の会による写真展。「自然・ネイチャー写真」というジャンル以外は縛りをなくし、テーマ、プリントサイズ、展示方法など会員それぞれが決めた展覧会が開催された。 [出品者数 16 名, 出品点数 102 点]	1,259 人
	高橋一昭展	パリの画壇で制作を続ける画家高橋一昭氏の 30 年間の画業を振り返る展覧会。絵画、デッサン、石版画、制作の傍らで書き綴った制作ノートなどが展示された。 [出品点数 150 点]	
7/28(火)～8/2(日)	エリザベス・ロブレス個展	フィリピン出身の現代美術作家エリザベス・ロブレスさんの個展。木彫・インスタレーション・レリーフの作品が展示された。 [出品点数 40 点]	1,297 人
8/4(火)～8/9(日)	「紙ノ力」一直ノ紙展一	手漉き紙の専門店「紙舗 直」代表の坂本直昭さんの個展。渋柿、藍、墨、土を使用し染色した手漉き紙やそれらを用いた屏風、照明作品が展示された。 [出品点数 約 200 点]	1,196 人
8/11(火)～8/16(日)	Apart... Together Again 展	韓国出身の作家ジョン・ジホンさん、リ・ヨンハさん、ジョン・ジェウさんによる展覧会。映像、CG イラストレーション、メディア・アート作品が出品された。 [出品者数 3 名, 出品点数 14 点]	599 人

会 期	展 覧 会 名	展 示 内 容	入 場 者 数
8/18(火)～8/23(日)	第8回茨城一陽展	一陽会に所属する茨城在住の作家による展覧会。「触発する空間」をテーマに、絵画、彫刻作品が出品された。 [出品者数 28名, 出品点数 64点]	1,367人
8/25(火)～8/30(日)	5つの写真グループの展覧会	高野経将氏に指導を受けている県南地区5つの写真グループの合同展覧会。自然写真や外国の風景、動植物を撮影した作品が出品された。 [出品者数 51名, 出品点数 136点]	1,435人
	フォトグループいずみ第9回写真展	土浦を拠点に活動するフォトグループ「いずみ」の展覧会。新たな試みとして全紙サイズにプリントした作品が出品された。 [出品者数 15名, 出品点数 75点]	
9/1(火)～9/6(日)	心地いい庭ガーデンデザイン展 vol.5	ひたちなか市のザ・キャスデザイン代表吉川和雄さんによるガーデンデザインの展覧会。吉川さんが提案する「心地いい庭」を写真パネル、映像などを使い展示した。 [出品点数 13点]	965人
	第13回 七彩会展	日本画家大坪由明さんを講師とする17名の個展形式の展覧会。四季の風景や人物、花、動物などおもしろおもしろのテーマを描いた、多彩な日本画の作品が展示された。 [出品者数 17名, 出品点数 64点]	
9/8(火)～9/13(日)	IPA 茨城写真家協会展 2009 対話型ライブ写真展『プロカメラマンの仕事』	茨城県在住のプロカメラマン15名による写真展。対話を重視し、会場では、参加する写真家からさまざまな話を聴くことができる展覧会となった。 [出品者数 15名, 出品点数 280点]	1,829人
9/16(水)～9/21(月)	川村美術教室展	川村清さんが指導する絵画教室の展覧会。油彩、水彩、アクリル、鉛筆など様々な画材を用いて抽象画から人物、静物、風景などを描いた作品が出品された。 [出品者数 18名, 出品点数 113点]	1,125人
	ヴィジュアル・コミュニケーション	田寄裕季子さん、浅間奈津子さん、キム・ゼジョンさんの三人展。触れて鑑賞する写真、植物をモチーフにした写真、自然をテーマにした映像作品が展示された。 [出品者数 3名, 出品点数 118点]	
9/23(水)～9/27(日)	第15回清明21美術協会展	画家・本堂清さんが講師を務める水墨画と油彩画同好会の展覧会。展示室入口には会員がおもしろおもしろに筑波山を描いた「筑波百景」が展示された。 [出品者数 79名, 出品点数 244点]	1,103人
9/29(火)～10/4(日)	植物画館野京子とそのグループ展	植物を正確に、細部まで描く絵画ボタニカルアートの展覧会。植物画家の館野京子さんが講師を務める7つの植物画サークルの会員の作品が展示された。 [出品者数 101名, 出品点数 261点]	2,088人

会 期	展 覧 会 名	展 示 内 容	入 場 者 数
11/12(木)～11/15(日)	第 28 回茗溪学園美術展	茗溪学園の生徒・父母・教職員が一体となって開く展覧会。生徒たちが中等部・高等部の授業で制作した作品や父母、卒業生、教職員の作品が展示された。 [出品者数 約 800 名, 出品点数 約 1400 点]	1,585 人
11/17(火)～11/29(日)	アートセッションつくば2009 展	つくば市の美術振興の一環としてスタートした展覧会。平沢官衙歴史ひろばとつくば美術館の二ヶ所で開催され、当館では屋内展示を中心とした作品が展示された。 [出品者数 14 名, 出品点数 24 点]	1,744 人
12/1(火)～12/6(日)	平成 21 年度 筑波大学大学院 人間総合科学研究科博士前期課程芸術専攻 洋画・日本画・版画作品展「MC 展」	洋画, 日本画, 版画を研究している学生による展覧会。学外での作品発表や公募展への出品など, 精力的に制作活動する学生たちが, 日々の研究の成果を発表した。 [出品者数 39 名, 出品点数 55 点]	1,096 人
12/8(火)～12/13(日)	第 64 回県南高等学校連合美術展	県南地区の高等学校美術部で活動する生徒による作品展。油彩・水彩・アクリル画・デザインなどの平面作品と, 彫塑・立体造形などの立体作品が展示された。 [出品者数 24 校, 出品点数 240 点]	846 人
12/15(火)～12/20(日)	第 13 回 取手松陽美術科展 「十人十色」	油絵・日本画・彫刻・ビジュアルデザイン・クラフトデザインと, 様々な分野の作品が展示された。授業で制作した版画や陶芸作品も出品された。 [出品者数 102 名, 出品点数 208 点]	1,249 人
12/22(火)～12/27(日)	マリアンドール展2009 ～わたしのちいさな人形たち～	ビスクドール教室・マリアンドールを主催するカマチマリコさんとその生徒による展覧会。ビスクドールやドールハウスとともに製作工程の解説が展示された。 [出品者数 13 名, 出品点数 185 点]	1,253 人
	第33回筑波研究学園都市 全日本連合書道選抜展	県内外の書道愛好家, 県内の高校生が集う展覧会。臨書から創作作品, 漢字・仮名・篆刻・刻字・調和体などあらゆる分野の作品が出品された。 [出品者数 102名, 出品点数 54点]	
1/2(土)～1/11(月)	平成 21 年度筑波大学大学院 博士後期課程芸術専攻洋画・日本画・彫塑・書作品展「DC 展」	洋画・日本画・彫塑・書を学ぶ学生が日々の研究の成果を発表した。作品の横には制作者のプロフィールとそれぞれのテーマや制作意図などを書いたパネルが設置された。 [出品者数 15 名, 出品点数 43 点]	1,346 人
1/13(水)～1/17(日)	武蔵野美術大学校友会 第 8 回茨城南支部展	全国に支部のある武蔵野美術大学校友会の茨城南支部創立 10 周年記念展。油彩・水彩・版画・CG・イラスト・木彫などさまざまなジャンルの作品が出品された。 [出品者数 25 名, 出品点数 150 点]	1,108 人

会 期	展 覧 会 名	展 示 内 容	入場者数
1/19(火)～1/24(日)	第 18 回つくば市文化協会芸術展	つくば市文化協会に加盟する 48 の団体が参加, 出展する 展覧会。当館は第 1 会場として, 絵画・書道・写真・陶 芸・手工芸部門の作品が展示された。 [出品者数 324 名, 出品点数 388 点]	2,392 人
1/26(火)～1/31(日)	第 6 回ラパン展	守谷市在住の洋画家渡邊丞さんが中心となり活動するラ パン展。外国の風景や人物など思い思いのテーマをもち いて, それぞれ表現する世界を描いた。 [出品者数 36 名, 出品点数 91 点]	975 人
2/2(火)～2/7(日)	平成 21 年度 筑波大学芸術専 門学群卒業制作展前期	芸術学専攻 (芸術学・美術史/芸術支援学), 美術専攻 (洋 画/日本画/彫塑/書/版画) による卒業制作展。自画像や 特別カリキュラムの版画作品, 筑波大学芸術賞や茗溪会 賞などを受賞した作品が出品された。 [出品者数 44 名, 出品点数 65 点]	3,407 人 (前期、後 期あわせ て)
2/9(火)～2/14(日)	平成 21 年度筑波大学 芸術専 門学群卒業制作展後期	構成専攻 (総合造形/構成/クラフト/ビジュアルデザイ ン), デザイン専攻 (情報デザイン/プロダクトデザイン /環境デザイン/建築デザイン) の作品が展示された。平 面・立体・映像作品など多種多様な作品が, 展示室屋や 外展示場, ホールの階段を使用して展示された。 [出品者数 62 名, 出品点数 71 点]	
2/16(火)～2/21(日)	平成 21 年度筑波大学大学院 博士前期課程芸術専攻修了展	美術史, 芸術支援, 洋画, 日本画, 彫塑, 書, 総合造形, クラフト, 構成, ビジュアルデザイン, 情報デザイン, プロダクトデザイン, 環境デザイン, 建築デザインの作 品が展示された。 [出品者数 66 名, 出品点数 106 点]	1,713 人
2/23(火)～2/28(日)	第 9 回チャレンジアートフェ スティバル in つくば	障害のある方が自ら制作した絵画や造形物を展示した り, ダンスや太鼓, 劇などを発表するチャレンジアート フェスティバル。つくば美術館では 24 団体が参加した。 [出品者数 約 500 名, 出品点数 約 430 点]	1,737 人
3/2(火)～3/7(日)	グリーン・リープス展	所属団体も活動内容も異なる, 県南地域在住の作家 10 名 による絵画展。人物や風景をモチーフに大作中心の作品 が展示された。 [出品者数 10 名, 出品点数 47 点]	1,264 人
	第14回つくば太湖の会水墨画 展	水墨画の歴史を学び, 研究し, その成果を反映したオリ ジナルな作品を制作する太湖の会。山水画, 工筆画, 写 意画など水墨画の多彩な作品画出品された。 [出品者数 15名, 出品点数 62点]	
3/9(火)～3/14(日)	第 12 回アートシャワー絵画 展	牛久・つくばに在住する作家により結成されたグループ。 80 号から 100 号の大型の作品を中心に, 人物画・風景画 から抽象画などさまざまなモチーフが描かれていた。 [出品者数 19 名, 出品点数 39 点]	1,391 人

会 期	展 覧 会 名	展 示 内 容	入 場 者 数
3/17(水)～3/22(月)	佐藤学展	筑波大学大学院，日本画領域に在籍する佐藤学さんの展覧会。作品を壁から床にかけて斜めに垂らすなど，工夫された展示方法となっていた。 [出品点数 9点]	1,626 人
	第1回日本水彩茨城支部展	彩光会を前身として発足した日本水彩茨城県支部による初の展覧会。静物画，人物画，風景画など思い思いにテーマを決めて取り組んだ多彩な水彩画が展示された。 [出品者数 23名，出品数 80点]	
	三人展	35年余り絵画活動を続ける杉崎利男さん，岩田博さん，古橋豊人さんの還暦を記念した展覧会。三人それぞれに個性あふれる作品が出品された。 [出品者数 3名，出品数 54点]	